平成 22 年 10 月 22 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社　小　林　洋　行
代表者名　代 表 取 締 役 社 長　細　金　成　光
（コード：8742、東証第一部）
問合せ先　取締役経営企画室長　宮　崎　誠　二
（ＴＥＬ 03－3664－3511）

当社子会社の業績予想の修正に関するお知らせ

当社の連結子会社であります株式会社フジトミは、平成 22 年５月 13 日付「平成 22 年３月期決算短信」にて発表いたしました平成 23 年３月期（平成 22 年４月１日～平成 23 年３月 31 日）の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

なお、これによる影響につきましては、現在集計中であり、数値がまとまり次第発表いたします。

（添付資料）

株式会社フジトミの開示資料

以　上

平成 22 年 10 月 22 日

各　　位

会 社 名　株 式 会 社 フ ジ ト ミ
代表者名　代表取締役社長　細 金 英 光
（ＪＡＳＤＡＱ・コード８７４０）
問合せ先　取締役業務本部長　新 堀　博
電話 03－3209－5500

平成 23 年３月期通期（連結）業績予想の修正に関するお知らせ

平成23年３月期(平成22年４月１日～平成23年３月31日)の業績予想について、平成22年５月13日付当社「平成22年３月期決算短信」にて発表いたしました業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

１．平成 23 年３月期通期（連結）業績予想の修正

連結業績予想（平成 22 年４月１日～平成 23 年３月 31 日）　（単位：百万円）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(Ａ)	2,760	△18	11	6	0 円 90 銭
今回発表予想(Ｂ)	2,240	△709	△685	△703	△105 円 20 銭
増減額（Ｂ－Ａ）	△520	△691	△696	△709	
増減率	△18.8%	－	－	－	
（ご参考）前期実績（平成 22 年３月期）	1,544	△954	△884	△836	△122 円 00 銭

２．修正理由

（１）　営業収益

商品先物取引自己売買業務の上半期実績が売買損失となったこと、及び、商品先物取引受託業務の下半期の市場環境が一段と厳しくなることを想定し、受取手数料の予想を変更したことが主な修正理由であります。

商品先物取引自己売買業務につきましては、増収を予想しておりましたが、上半期の実績は 71 百万円の売買損失（前年同期は売買利益 35 百万円）となりました。出来高の減少が続く現在の市場環境を考慮し、下半期は若干のプラス程度と想定し、通期予想を売買損失に修

正いたしました。また、親会社（㈱小林洋行）からの顧客移管受入（平成 22 年 2 月）の効果等により、増収を見込んでいた商品先物取引受託業務の受取手数料については、上半期は 516 百万円（前年同期比 21.7％増）と概ね順調でしたが、商品先物取引市場の規模縮小、11 月に予定している福岡支店の受託業務廃止、来年１月から実施される不招請勧誘の禁止などの影響により、下半期は弱含むことが予想されますので、下半期の受取手数料を上半期実績比 13％程度の減収と想定して予想を修正いたしました。

このほか、保険募集業務の受取手数料及びＬＥＤ照明の売上高の予想も若干下方修正いたしました。

（２） 営業利益

営業収益予想の下方修正に伴う営業総利益の減少（約 505 百万円）を反映したほか、営業費用の予想を当初予想の前期比 14％減から、前期比５％減に修正しております。営業費用の予想修正の要因は、人件費削減の遅れ、商品先物取引受託業務セミナー営業強化のための広告宣伝費の増加、新たに開始したＬＥＤ照明販売に関し積極的な事業展開を図るため独自商品の開発費用 60 百万円（当初予想外）を上半期に一括して費用計上したことなどであります。

※ 経常利益については営業利益の予想修正及び金融資産運用利回りの低下を、また、当期純利益については有価証券評価損の計上を考慮して修正しております。

（注）１．上記予想は、発表日現在における入手可能な情報並びに不確定要因に係る仮定に基づくものであります。実際の業績は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

２．当社は個別の業績予想は開示しておりません。

以　上